

# 笹野台地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画  
平成28年度～32年度

地区別  
計画

笹野台地区は旭区の西部に位置し、西側は瀬谷区に隣接し、最寄り駅は三ツ境駅です。昭和30年ごろから開発が始まった新興住宅地で、集合住宅は比較的少なく、戸建て住宅が中心の地区です。

この5年間に人口は約400人減少し、区全体に比べても高齢化が進んでいます。



### ■めざす地区の姿

自治会単位で、近隣の住人のことをお互いによく知り、助けあって  
「住みよい街」「明るい街」「安心して暮らせる街」となれるよう努めます。

### ■3期計画の主なポイント

自治会長を「笹野台地区ささえあい連絡会」の幹部役員に位置づけ、地域の諸行事の推進役になって頂き、自治会と地区社会福祉協議会を中心に地域全体で取り組みます。

### ■目標A

連動する区計画の柱 | 地域の福祉力アップ

## ボランティア不足への対応、発掘と育成

### ■具体的な取組

- 各自治会内で「口（くち）コミ紹介制度」を推進する。
- 「ホームページ」や「ささのだいニュース」にボランティア情報を掲載する。
- 「ボランティアの有償化」について検討する。

【自治会・地区社協】



《ちょっとしたお手伝い》



《お出かけ支援》

■目標B

小中高生の地区行事への参加を活性化させる

■具体的な取組

- 学校との協働により参加人員を増やす。学校でボランティア募集活動を行う。
- 各家庭への働きかけ。自治会イベントを通じて地域活動への参加を促す。
- 防災訓練、清掃活動（北公園・緑地など）への参加を募集する。

【自治会・地区社協・子ども会・青少年指導員・スポーツ推進委員】

《盆踊り大会》



《どんど焼き》



《みかん狩り》



《連合体育祭》

■目標C

住民相互の見守りシステムの構築(高齢者を含む)

■具体的な取組

- 近隣の人々をよく知る。種々のイベントで皆さんとよく話せる関係を作る。
- 「この人のことは誰に聞けばわかるか？」支えあいマップを構築する。
- 各組・班の高齢者を隣人が見守る。

【民生委員・児童委員・自治会・老人クラブ】



《福祉講演会》

## ■目標D

## 老人クラブの活性化

## ■具体的な取組

- 単位老人クラブごとの目標値を決めて加入率を向上させる。
- 各クラブで活動内容を充実させ、魅力あるクラブとして脱皮する。

【老人クラブ・自治会】



《老人クラブ✿ウォーキング》

## ■目標E

## 青壮年の交流の場を創設する

## ■具体的な取組

- 参加しやすいプログラムを創り出す。
- 自治会・社協主催の諸行事（従来型）に多数の参加を募る。

【スポーツ推進委員・青少年指導員】



《成人女子バレーボール大会》 《グランドゴルフ大会》

《卓球大会》

## ■目標F

## 女性の交流の場の活性化(ケアフラザとの共催事業)を図る

## ■具体的な取組

- 新人の参加を図り、輪をもっと広げていく。
- 魅力あるプログラムを考える。
- 各自治会館での出前講座を行う。

【自治会・地区社協】



《第3月曜クラブ》



《サロン『お茶べり会』》

## ■目標G

### 高齢者の交流の場の拡充

#### ■具体的な取組

- ケアプラザ・笹野台会館から遠い人のために、各自治会館で出前講座をしっかりと行う（ケアプラザとの協働でサロン活動・ミニ講座など）。
- 引きこもり高齢者を誘い出すよう努力する。
- 対象者のニーズ（講座内容・時間帯・金額など）を把握するため、アンケートを実施する。  
【自治会・地区社協・老人クラブ】

ほっとサロン  
だんらん

サロン  
ひとやすみ

《出張サロン》

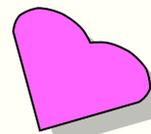
## ■目標H

### 障がい者の把握および対応への準備

#### ■具体的な取組

- 情報の把握につき検討する。
- 障がい者へ理解を深めるために研修・講座を実施し、対応への勉強をする。  
【地区社協・民生委員・児童委員】

地域のやさしい  
見守り



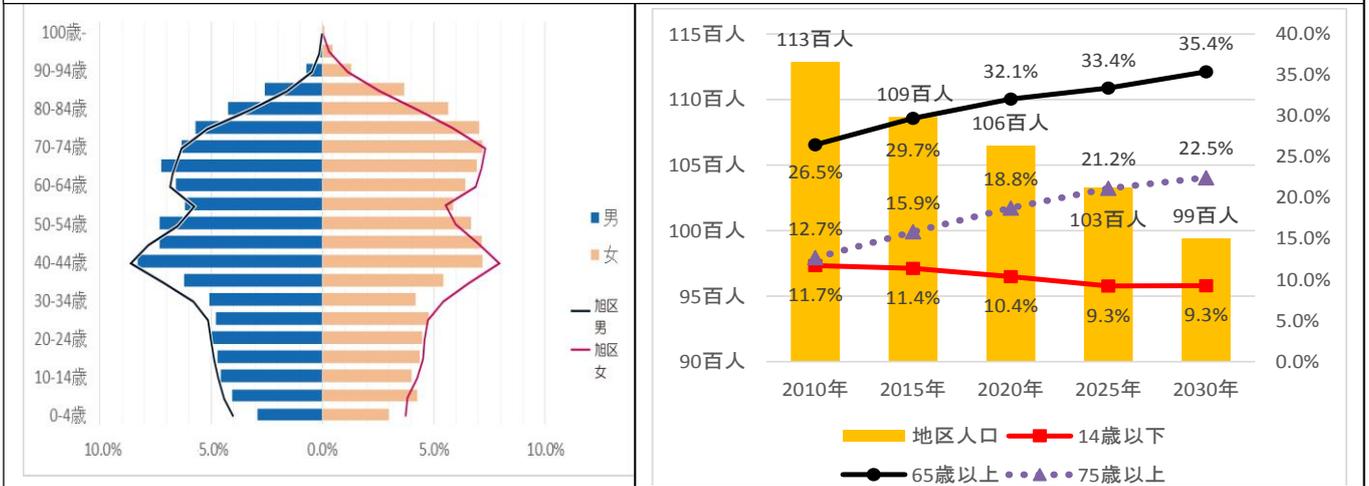
**組織に縛られず**

**【地域が一体となって活動目標を推進します！！！！】**

## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）と近い構成比率となっているが、65歳以上の層の比率は区平均より高くなっています。その一方で、30歳代の層の比率が区平均よりも低くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間で約400人減少しています。高齢化率は約3.2%増加し、旭区平均より高くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で概ね4900戸前後で推移しています。また、世帯人員は2015年で2.24人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約10600人、2025年で約10300人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約32.1%、2025年で約33.4%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■2期計画の振り返り

年間約9回の地区社協常任理事会を開催し、活動内容等の情報共有を行いながら、連合自治会と協力して活動を行うことができたため、目標に掲げた取組については概ね計画どおりに進み、広報活動を通して活動をPRするなど、活動を拡大してきた。

一方、活動の担い手であるボランティアが高齢になってきており、活動を続けることが困難になってきている。活動を維持、拡大していくためにも新たな担い手の確保が必要である。

### ※取組の一部

- 昼食会会場の多点展開・・・お楽しみ会付きの昼食会を1か所で月1回実施。
- 広報活動の充実、強化・・・ホームページを開設し、地域行事や防災・防犯情報等を掲載。広く情報発信できるようになった。
- 子育てサロンの充実・・・毎月2回の実施、親のための喫茶コーナーを併設。
- サロン「お茶べり会」の創設・・・毎月第1金曜日に実施。
- 第3月曜クラブの創設・・・毎月第3月曜日に実施。
- 外出困難者への送迎対応・・・PR活動の結果による利用者の増加（26年度実績：918回）。

## ■地区の福祉課題

- ボランティアの高齢化および後継者不足。
- 買い物難民の支援が必要。
- 各種取組への参加が固定化されてきているため、参加者を増やす工夫が必要。
- 青少年事業においては中高生の参加を促す必要がある。

